仕様概略

モデル			PRIMEFLEX for VMware vSAN							
タイプ			ベースタイプ		高性能／大容量タイプ		GPU搭載タイプ		高集約タイプ	
モデル			ハイブリッド	オールフラッシュ	ハイブリッド	オールフラッシュ	ハイブリッド	オールフラッシュ	ハイブリッド	オールフラッシュ
採用サーバ			PRIMERGY　RX2530 M5		PRIMERGY　RX2540 M5				PRIMERGY　CX2560 M5※1	
ノード数			3 ～ 64							
ノードの追加単位			1							
ノードあたりの高さ			1U		2U				2U※2	
ハイパーバイザ			VMware vSphere ESXi 6.7 Update1以降※3							
SDS			VMware vSAN 6.7 Update1以降※3							
運用管理ソフトウェア			Infrastructure Manager for PRIMEFLEX							
収容VM数	サーバ仮想化※4（1ノードあたり）		～67VM程度	～120VM程度			～58VM程度	～80VM程度	～31VM程度	～120VM程度
	VDI※5（1ノードあたり）		～190VM程度				～128VM程度（NVIDIA Tesla M10）※8 ～64VM程度（NVIDIA Tesla V100）※8		～190VM程度	
構成サーバ仕様（1ノードあたり）	プロセッサ搭載数		1 or 2				2		1 or 2	
	プロセッサ種類		インテル Xeon プロセッサー　スケーラブルファミリー							
	メモリ容量		48GB ～ 3072GB				48GB ～ 768GB（NVIDIA Tesla M10） 48GB ～ 1536GB（NVIDIA Tesla V100）		48GB ～ 2048GB	
	ネットワークインターフェース		1000BASE-T×1、10GBASE／10GBASE-T×4							
	ストレージ容量※6	SSD キャッシュ※7	400GB ～ 3.2TB	240GB ～ 12.8TB	400GB ～ 7.68TB	240GB ～ 32TB	400GB ～ 4.8TB	240GB ～ 25.6TB	400GB ～ 960GB	240GB ～ 6.4TB
		SSD データ領域	–	1.44TB ～ 122.4TB	–	1.44TB ～ 321.3TB	–	1.44TB ～ 214.2TB	–	1.44TB ～ 76.5TB
		HDD データ領域	1.5TB ～ 19.2TB	–	1.5TB ～ 50.4TB	–	2.4TB ～ 33.6TB	–	1.5TB ～ 9TB	–
	電源		100V ／ 200V　電源ユニット（800W／1200W）×2			200V　電源ユニット（1200W）×2			200V　電源ユニット（1600W／2400W）×2	

※1 マルチノードサーバ用シャーシ「PRIMERGY CX400 M4」に搭載
※2 「PRIMERGY CX2560 M5」を搭載するマルチノードサーバ用シャーシ「PRIMERGY CX400 M4」のU数
※3 最新の対応状況は下記に記載のインターネットの製品仕様をご確認ください。
※4 記載のVM数は、1VMあたりCPU : 1GHz、メモリ : 4GB、HDD : 100GBを割り当てた場合で算出した目安です。
※5 記載のVM数は、1VMあたりCPU : 630MHz、メモリ : 4GB、HDD : 50GB（Linked clone）を割り当てた場合で算出した目安です。
※6 SSD／HDDを搭載した場合の物理容量
※7 キャッシュの選択可能な範囲は、データ領域の容量によって変わります。
※8 GPUは最大2枚まで搭載可能です。VM数はカード2枚搭載時の最大収容数です。1VMあたりに割り当てるリソース次第で最大VM数は変わります。

- 商品に実装される機能は選択するモデルや運用管理ソフトウェアによって異なります。
- このカタログに記載している内容は2019年8月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。
- 記載している会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
- VMwareは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテル、Xeonは、アメリカ合衆国および／またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- 記載している会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。また、記載しているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（®、TM）を付記していません。

Green Policy Innovation

インターネットで製品情報がご覧になれます。
https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/integrated-systems/virtual/primeflex-vsan/

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン（総合窓口）
0120-933-200
受付時間 9 : 00 ～ 17 : 30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

富士通株式会社　〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Copyright 2019 FUJITSU LIMITED

CG4630-6-2019年8月

vmware®　FUJITSU

FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for VMware vSAN

ハイパーコンバージドインフラストラクチャー

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

ICT基盤をシンプル化する富士通のハイパーコンバージドインフラストラクチャー

FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for VMware vSAN

富士通が提案する新たなインフラのスタイル

ICT基盤が企業の経営戦略を支える重要な役割を担い、広がりを見せる中、そのシステムは日々複雑化し、インフラの維持、運用にかかるコストや負荷も増大しています。
FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for VMware vSANは、Software-Defined Storage技術により、ストレージをサーバに統合することでシンプルな構成を実現しました。
また、富士通独自ソフトウェア「Infrastructure Manager for PRIMEFLEX」(以下、ISM for PRIMEFLEX)によって導入・運用・拡張における煩雑さを排除します。
シンプルで手軽な次世代プラットフォームとして、お客様の経営環境の変化に合わせた、簡単・柔軟なインフラ運用を可能とし、投資の最適化を実現します。

特長01 安心のスピード導入

設計済み・セットアップ済みで導入、導入後も安心のワンストップサポート

■設計作業を大幅に削減

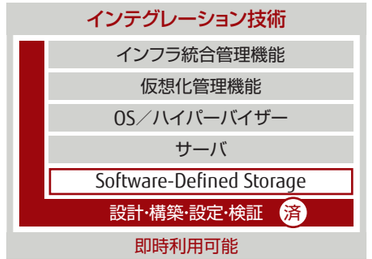
富士通のノウハウで統合された検証済みの仮想化基盤が導入前の設計作業を大幅に削減します。
また導入時に、お客様のご要望に合わせた機器構成のカスタマイズを可能としており、スピーディーな導入が可能です。

■工場セットアップ済みで即時利用可能

PRIMEFLEX for VMware vSANの導入サービスを組み合わせることで、工場でセットアップまで実施して納品されるため、設定不要で電源投入後、即時利用可能です。システム稼働までの期間を大幅に削減します。

■安心のワンストップサポート(運用・保守サービス SupportDesk)

ハードウェア/ソフトウェアに関する各種専門技術者が、お客様の問題を一括でサポートし、ユーザーの運用負荷を軽減します。



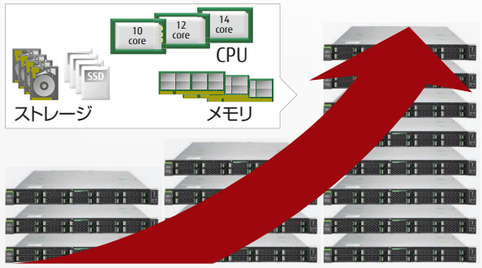
過去のサポート対応ノウハウを蓄積したデータベースを活用

特長02 優れた柔軟性と高い拡張性

インフラ投資の最適化

■最小 3ノードからのスモールスタート

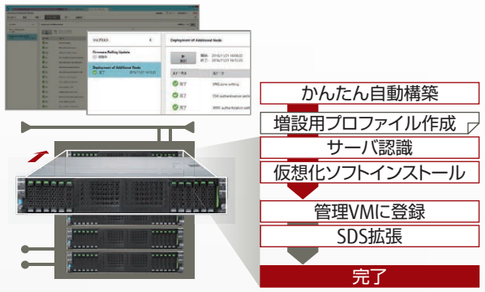
サーバだけのシンプルな構成で最小3ノードからのスモールスタートが可能。小さく導入して規模に応じて大きく拡張することが可能です。
最大 64ノードまで増設可能で、利用者の増加や業務負荷の増大によってリソースが不足した場合、ノード単位の増設に加えて、CPU/メモリ/内蔵ストレージ単位の増強も可能です。



■簡単かつ迅速な増設

機器増設作業は、インフラ統合運用管理ソフトウェアの機能である自動構築ツールによって、簡単、迅速に実施することが可能で、従来と比較して作業工数50%削減* することができます。

《操作画面》



* 当社の標準手順に基づき算出。削減効果をお約束するものではありません。

特長03 簡単運用

専用ソフトウェアがもたらす新たなインフラ運用

PRIMEFLEX for VMware vSANの専用ソフトウェア「ISM for PRIMEFLEX」は、直感的な視認性と操作性、多様な自動化機能を提供。インフラの構築・運用・管理を一層、省力化させます。

■わかりやすい管理画面

機器の管理は直感的な操作を可能とするGUIで一元化。
吸気温度や消費電力などの状況監視や、各機器の詳細情報の一括管理を実現します。
3Dカラー画面で機器の配置を確認することが可能で、異常発生時などは色を変えて表示することで認識性が向上し、容易に障害箇所を特定できます。

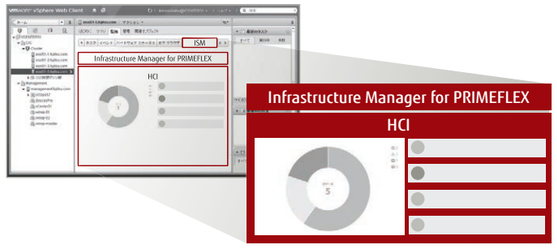
《機器情報確認》

ステータス・吸気温度・消費電力を表示　　各機器の詳細情報を一括管理

■使い慣れたvCenter画面からシステムを一元管理

ISM for PRIMEFLEXは、VMware vCenter Server(以下、vCenter)プラグインを提供しており、使い慣れたVMware vSphere Web Clientからシステムを一元管理することができます。
さらに、ISM for PRIMEFLEXでは、物理環境と仮想環境をまとめて管理できるだけでなく、PRIMEFLEX for VMware vSAN以外の他社製ハードウェア*も含めた別システムまでも、単一の画面から管理することが可能。各々の管理画面を立ち上げる必要がなくなり、シンプルな運用を実現します。
*対象は当社担当営業、販売パートナーにお問い合わせください。

《vCenterのプラグインとして利用可能》



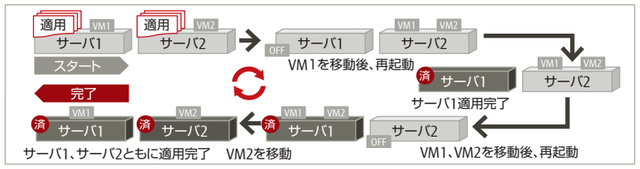
■管理者の負荷を軽減する多様な機能

ファームウェア適用に関する作業を自動(ローリングアップデート)で行うことで、管理者の作業工数を大幅に削減できます。自動化することで手順違いを防止します。
ハードウェア、OSのログを一括収集することが可能です。定期的にログを収集することで管理工数削減を実現します。

《仮想環境の状況確認》

正常・異常/総容量/使用率/種類/バージョン情報　etc

《ローリングアップデート》



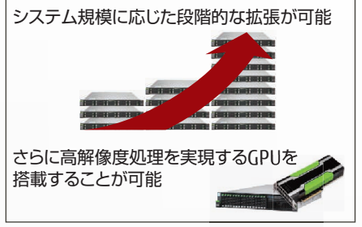
《ログの収集と管理》

利用シーン

VDI基盤

PRIMEFLEX for VMware vSAN なら

システム規模に応じた段階的な拡張が可能

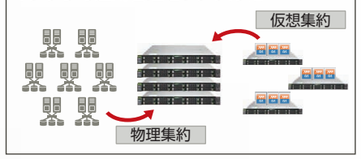


さらに高解像度処理を実現するGPUを搭載することが可能

仮想化基盤

PRIMEFLEX for VMware vSAN なら

ストレージを含め既存システムをサーバに集約することが可能。専用ソフトウェアでインフラの運用管理をシンプル化



プライベートクラウド基盤

PRIMEFLEX for VMware vSAN + ROR* なら

充実のプライベートクラウド向けの機能で運用管理コストの削減が可能
・「VM利用申請〜配備」申請プロセスのワークフロー化
・サーバ故障予兆検知と仮想サーバ自動退避
・リソース需要予測やシミュレーション

* ServerView Resource Orchestrator